英国発祥スポーツ楽しむ

明石公園 ローンボウルズ大会開幕

重心が偏った球を目標球にどれだけ近づけられるかを競う英国発祥のスポーツ「ローンボウルズ」の大会「2016年ALBCローンボウルズ大会」（神戸新聞社など後援）が7日、明石市の明石公園ローンボウルズ場で始まった。12月まで毎月2回開かれ、前期（1～6月）と後期（7～12）で順位を競う。

生涯スポーツとして普及させようと、NPO法人「ローンボウルズクラブALBC」が毎年開いている。

初日は同市や神戸市内などの25人が参加。約30㍍先の目標球をめがけて1人ずつ球を投げ、「大きすぎた」「止まれ、止まれ」などと声を上げながら、楽しそうにプレーしていた。毎年出場しているという旭吉功さん(72)＝山下町＝は「みんなでわいわい話しながら、明るく楽しくやっています」と話していた。

（奥平裕佑）

ローンボウルズを楽しむ出場者たち＝明石公園